

議会だより

補正予算など	2
町政のそこが聞きたい	3
一般質問	4~6
出欠状況	7
30年度予算	8~9
委員会などの動き	10~11



中標津町総合体育館にて

第10回根室管内親睦ミニテニス交流会 in なかしべつ

標津町ミニテニス愛好会

会員15名で行っています。

◎練習は毎週火・木・金曜日、午前10時~11時30分
総合体育館で！
初めての人でもどうぞ遊びに来てください。
お待ちしております!!

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

同意案件

根室市町村等
公平委員会委員
寺澤 哲也 氏

<住所>

目梨郡羅臼町船見町19番地6

<任期>

平成30.4.1～34.3.31

諮問案件

人権擁護委員
奥村 俊己 氏

<住所>

標津町北4条西3丁目3番11号

<任期>

法務大臣の委嘱の日から3年間

意見書

- 高レベル放射性廃棄物の最終処分場を受け入れないことを求める意見書

提出者

大垣 勇 議員

- 根室海峡海域におけるロシア連邦トロール漁船に関する意見書

提出者

大垣 勇 議員

一般会計の補正予算

主なもの(執行残等は除く)

(単位:千円)

項目	金額	内容
標津町起業等支援事業	2,250	年度内起業等支援補助金交付申請発生による追加
保健福祉センター維持管理費	1,477	燃料費等の不足及び床暖送水制御機器故障による修繕費の増額
ふるさと応援基金積立金	91,328	返礼品代金、送料及び寄附見込積立金の追加
ふるさと新生プラン・ステップⅡ推進基金積立金	180,000	政策積立
障がい者介護・訓練等給付費	5,849	利用対象者の増による給付費の追加
病院会計繰出金	47,000	収益的収支の入院及び外来収入の減などによる繰出金
新規入植者受入対策事業	3,150	本町への新規就農希望者が研修を行った別海町研修牧場の育成費用を農協と折半負担するもの
標津町農業担い手サポート推進事業	2,183	①新規農業者支援事業 ②経営サポート事業 ※農協と折半
酪農ヘルパー育成促進事業補助金	4,500	農協が行うヘルパー事業への助成金
秋サケ施設整備対策事業費	20,818	根室管内さけます事業協会の平成29年度施設整備に係る漁獲割会費を補助し、漁業者の負担軽減を図る。
冬まつり助成金	1,500	川北で開催の冬まつりへの助成金追加(指定寄附)



副委員長
山崎 英司 議員



委員長
吉田 智 議員

平成30年度一般会計予算・特別会計予算9件・予算に関係する6件の条例制定・改正を議長を除く9人の議員で構成する審査特別委員会に付託しました。

平成30年度予算案を
予算審査特別委員会付託

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいう。

町政のそこが聞きたい

平成30年第1回定例会(3月8～15日)で3議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

平成29年12月19日、政府の地震調査委員会が千島海溝沿いの地震活動の長期評価(第三版)を公表、更に、明後日(3月11日)に東北地方太平洋沖地震発生の災禍の日(東日本大震災7年)を迎えるに当たり、3議員が標津町の防災・減災対策に関して質(ただ)しました。

海溝型地震

海のプレートと陸のプレートとの間のずれによって生じるプレート間地震と海のプレート内部の破壊によって発生するプレート内地震を指し、大きな津波を伴う事もある。

H29.12.19 地震調査委員会が公表

超巨大地震の予測

今後30年以内M8.8程度以上 7～40%
【十勝沖・根室沖・色丹島沖及び択捉島沖】



小川 悠治 議員…4ページ

● 道東沖『超巨大地震切迫』①

当町の防災対策を確認する



東北地方太平洋沖地震
3月11日15時25分
岩手県宮古市

南 憲治 議員…5ページ

● 道東沖『超巨大地震切迫』②

災害弱者の避難には課題多し!

● 崎無異の「一般廃棄物最終処分場」延長・再利用が可能か?

吉田 智 議員…6ページ

● 道東沖『超巨大地震切迫』③

津波を想定した

「実践的な防災・減災訓練」の実施を!

● 人口対策【第三の道】

『関係人口』に対する見解を質す

千島海溝沿いで発生する地震の規模・確率
(今後30年以内の地震発生確率)

評価対象地震・領域	十勝沖	根室沖	色丹島沖及び択捉島沖
超巨大地震(17世紀型)	M8.8程度以上 7～40%		
プレート間巨大地震	M8.0～8.6程度 7%	M7.8～8.5程度 70%程度	M7.7～8.5前後 60%程度
ひとまわり小さいプレート間地震	M7.0～7.5程度 80%程度		M7.5程度 90%程度
十勝沖から択捉島沖にかけての海溝寄りのプレート間地震(津波地震等)	M8.0程度・50%程度 ※Mは津波マグニチュード		
沈み込んだプレート内のやや浅い地震	M8.4前後・30%程度		
沈み込んだプレート内のやや深い地震	M7.8程度・50%程度		
海溝軸外側の地震	M8.2前後・確率不明		

北海道消防新聞

平成30年2月号より抜粋、一部加筆

道東で24世紀津波痕跡

北大教授ら 約400年前と推定

道東沖「M9切迫」

政府調査委が新「長期評価」公表



超巨大地震「30年以内」最大40%



小川 悠治 議員

道東沖「超巨大地震切迫」
①
当町の防災対策を確認する

問 昨年末の「切迫している超巨大地震の発生！」の報道「参考1」に、町民は大きな不安を抱いている。



9面

1面



町長に代わり議場で超巨大地震についての見解を説明する和田直人係長

過去300年標津で津波痕なし

町議会 独自調査の係長答弁

【釧路】定例町議会は9日、「切迫性が高い」とされる道東沖超巨大地震などを巡り3氏が一般質問した。これに対し、気象予報士で防災士の和田直人住民生活課係長が独自の調査に基づき、「過去300年に町が水に覆われるような津波があったという痕跡は確認できなかった」と説明した。マグニチュード(M)9クラスの地震を想定したハザードマップは全戸配布済みで、道の新しい浸水想定が公表されたならば見直す方針という。

超巨大地震は昨年12月、政府の地震調査委員会の長期評価で30年以内に根室沖で発生する確率が当初70%と公表され、後に80%に引き上げられた。この超巨大地震について町が見解を示すのは初めて。また係長が議場で答弁するのは異例。和田係長は北大地震火山観測センター博士課程に約4年間在籍した経歴があり、「発生確率はシミュレ

明後日に東日本大震災7年目を迎えるに当たり、防災対策7項目及び防災マップの見直しに関して確認する。

- 答** 異例の形になるが住民生活課防災担当…和田係長が独自調査の結果を踏まえ答弁する。
- 答** 和田係長
- ① 災害応急対策の推進
 - ② 資機材、人員等の配備・手配
 - ③ 他機関に対する応援要請体制
 - ④ 積雪・寒冷対策
 - ⑤ 迅速且つ混乱の無い避難広報・避難活動

参考2

16面

地域の話

「シヨンの結果だと解説した。同センターと協力し2012年度から年間、町内の標津沿岸(標高3m)で地層を抜き取る「ジオスライサー」で津波の痕跡を調べた結果を報告し、17世紀の層にわずかに海の砂と思われるものがあったものの、現在と地形が大きく異なっているため、「津波の顕著な痕跡はなかった」「標津町に東日本大震災のような津波は来ていないと考えられる」と見解を述べた。また、和田係長は現在のハザードマップは17年の道発表の浸水予想に基づくため超巨大地震を想定した内容になっていると説明し、18年度に若者や旅行者向けにパソコンやスマートフォン版のハザードマップを新たに作成するとしていた。

- ⑥ 交通対策と周知
 - ⑦ 避難意識の普及と啓発
- の7項目に関して、具体的対策を提示した。★「ジオスライサー」を用いた独自調査の結果及びハザードマップに関しては「参考2」参照

道東沖「超巨大地震切迫」

②

災害弱者の避難には課題多し！

全町規模の訓練を
早期に実施したい

問 政府の地震調査委員会は本年1月、巨大地震が30年以内に起きる確立が、80%程度に引き上げられたと発表した。発生確率を正確に出すことは困難である。

しかし、道東沖で起きた巨大地震による津波発生から400年経ったとされ、専門家は発生は近づいていると予測している。



南 憲治 議員

「いつ起きてもおかしくない」との意識を持ち、各自治体や家庭で備えを欠かさない事が大切であると言っている。

だが、住民の防災意識の維持、高齢者や障がい者等の災害弱者の避難には、多くの課題が残されている。

いざと言う時のリスクを減らし、地域と住民を守っていくために町として、どのような対策・対応を図るのかを伺う。

答 単位町内会での避難訓練は実施しているが、全町での訓練は実施していないので、各

町内会において、要援護者等の災害弱者の確保と避難誘導ができるかが課題であり、早期に実施したい。

又、地域16団体と災害協定を結び、災害対策本部、防災会議等、地域の防災力を高めて行きたい。

「一般廃棄物最終処分場」



平成29年11月7日時点の埋立状況

崎無異の

「一般廃棄物最終処分場」延長・再利用が可能か？

問 平成16年7月に竣工した「一般廃棄物最終処分場」（崎無異）は、施設概要によると平成31年7月迄の埋立期間となっている。

平成28年12月定例会における一般質問では埋立率50%程度との事であったが

- ① 防水シート
 - ② 水処理装置
 - ③ 破砕機
- の健全度を質す。

答 質問①～③に関しては、毎年点検しているが、問題指摘はない。現時点においても、残余率49%の状況であり、今後も利用可能の判断の下、地元住民及び漁協、道、羅臼町との協議を詰め、最良の策を検討していく。

「素早い避難 最も有効」

津波対策、防潮堤は補助的

国の津波避難対策検討ワーキンググループ（WG）は18日、「最も有効で重要な対策は素早い避難」とする最終報告書をまとめた。最大級の津波に対しては防潮堤などの保全施設を補助的と位置づけ「原則徒歩」で逃げるよう提言。東日本大震災で波滞を招いた車での避難は、地域の実情に応じて限定的なものにとめるよう求めた。

国の最終報告

最終報告書の骨子

- 最大級の津波を想定した防潮堤などの整備は非現実的。常に想定を超える津波が襲う可能性を考え、「素早い避難」を最も重要な対策とする
- 住民の主体的な避難行動が基本。自ら高く安全な場所を目指す
- 避難行動につながる警報や避難勧告・指示が確実に届くよう、情報伝達体制を充実・強化する
- 原則として徒歩で避難。車を使った避難は地域の実情に応じて限定的に

朝日新聞 平成24年7月19日付 抜粋

道東沖「超巨大地震切迫」

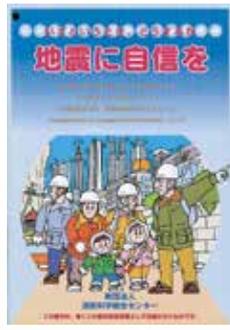
③

津波を想定した
【実践的な防災・減災訓練】の実施を！

『釜石の奇跡』を範として
繰り返しの訓練を検討する



吉田 智 議員



【発行：財団法人 消防科学総合センター】



問 平成23年の東日本大震災の死者の90%以上が津波による水死であった。標高5メートル以下に役場庁舎、市街地を有する標津町は、超巨大地震により誘発される津波によって甚大な被害が想定される。

東日本大震災の教訓を得て、国の津波避難対策検討ワーキンググループは、「最も有効で重要な対策は素早い避難」とする最終報告を平成24年7月にまとめた。
釜石市では、東日本大震災により死者・行

方不明者が約1300人に上った。その中で市内の小中学生の99.8%が津波から無事に逃げ切った。それは、「津波でんでんこ」の言い伝えを守り、8年間に及び、

① 想定にとらわれるな
② 最善を尽くせ
③ 率先避難者たれの避難の3原則を教えて来た釜石市の防災教育（訓練）の成果であると言われている。

「有備無患（備えあれば患い無し）」
綿密なシミュレーションの下、津波を想定した【実践的な防災・減災訓練】の継続の実施が望まれるが、所見を質す。



【発行：東京法規出版】

※1 「関係人口」：「交流人口」の本来の意味合いが現在の「観光客数」に矮小化（わいしょう）された。その中で、「関係人口」と言う言葉が、地方部に関心をもち関与する人々を指し「関係人口」として脚光を浴びている。

答 過小なる事なく、且つ、無意味に過大なる事のない適切な災害想定評価を行ない、平時において、町内の全体像を把握し、発災時に正確な情報発信が出来る様、努めて行く。
役場庁舎は、平成30年度予算において、「耐震改修等設計事業」として、3000万円を計上した。

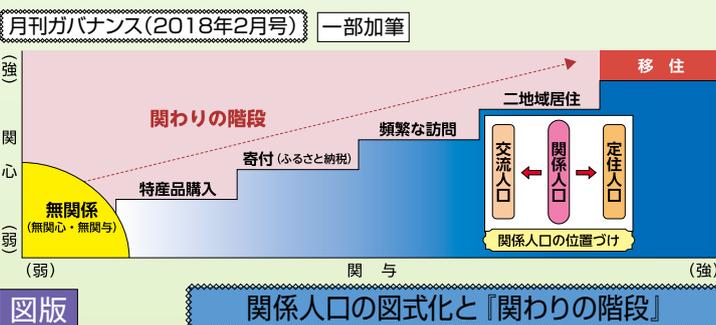
「釜石の奇跡」を範として、町民参加型の防災・減災訓練を繰り返し実施する事を検討する。

人口対策【第二の道】
※1 『関係人口』
に対する見解を質す

問 ※2 標津町の関係人口に関わる対象に対し、「標津町の魅力ある関わり価値」を情報発信し、政策パッケージを遂行して行く事が、人

□対策【第三の道】の関係人口の構築に帰結する。見解を質す。

答 交流（観光）以上、定住未満に位置づけられる関係人口は、地域を再認識し、可視化（見える化）を推進し、段階的に多様な関係を構築して行きたい。
（図版参照）



※2 標津町の関係人口に関わる対象

久留米大学医学部・東京農業大学・相模女子大学・釧路教育大学・生坂村（長野県）・東京標津会・札幌標津会・標津町観光大使（岡千秋氏）・ふるさと納税の納税者 等

議員の出欠状況(平成29年度)

出席……○ 欠席……×
〔 〕の委員は複数所属

【定例会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H29.6.20	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.9.13	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.12.13	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.8	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.15		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H29.4.27	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
H29.5.15	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.7.6	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.10.6	第5回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	小川	高橋	大垣	南
H29.4.18		○	○	○	○	○
年月日	氏名	山崎	石橋	小川	吉田	高橋
H29.5.15		○	○	○	○	○
H29.6.15		○	○	○	○	○
H29.7.25		○	○	○	○	○
H29.8.25		○	○	○	○	○
H29.9.6		○	○	○	○	○
H29.10.6		○	○	○	○	○
H29.11.17		○	×	○	○	○
H29.12.6		○	○	○	○	○
H30.1.19		○	○	○	○	○
H30.2.23		○	○	○	○	○
H30.3.22		○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	木下	高橋	石橋	吉田
H29.4.27		○	○	○	○	○
年月日	氏名	山崎	石橋	木下	南	大垣
H29.5.15		○	○	○	○	○
H29.6.15		○	○	○	○	○
H29.7.6		○	○	○	○	○
H29.8.10		○	○	×	○	○
H29.9.6		○	○	○	○	○
H29.10.6		○	○	○	○	○
H29.11.17		○	○	×	○	○
H29.12.6		○	○	○	○	○
H30.1.19		○	○	○	○	○
H30.1.25		○	○	○	○	○
H30.2.23		○	○	○	○	○
H30.3.1		○	○	○	○	○

【議会運営委員会】委員5人

年月日	氏名	大垣	高橋	小川	石橋	木下	田中
H29.5.15		○	○	○	○	○	○
H29.6.15		○	○	○	○	○	○
H29.9.6		○	○	○	○	○	○
H29.12.6		○	○	○	○	○	○
H30.3.1		○	○	○	○	○	○

【全員協議会】議員10人

年月日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H29.6.20		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.7.6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.1.19		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.2.15		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】委員8人

年月日	氏名	山崎	吉田	大垣	木下	高橋	小川	山崎	南
H29.10.23		○	○	○	○	×	○	○	○
H29.10.24		○	○	○	○	×	○	○	○
H29.10.27		○	○	○	○	×	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	南	大垣	石橋	小川	木下	高橋	山崎	吉田
H30.3.8		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.13		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.3.15		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【合同常任委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	山崎	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川
H29.6.15		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.9.6		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H29.12.6		○	○	○	○	○	○	○	○	○
H30.2.23		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

年月日	氏名	山崎	山崎	吉田	大垣
H29.4.13		○	○	○	○
H29.4.20		○	○	○	○
H29.6.20		○	○	○	○
H29.7.13		○	○	○	○
H29.7.20		○	○	○	○
H29.9.13		○	○	○	○
H29.10.16		○	○	○	○
H29.10.20		○	○	○	○
H29.12.13		○	○	○	○
H30.1.12		○	○	○	○
H30.1.19		○	○	○	○
H30.3.9		○	○	○	○

予算審査特別委員会

平成30年3月12日～15日

平成30年度 予算原案可決

総額 100億9,601万円

一般会計 69億5,000万円
 7 特別会計 21億4,356万円
 病院事業会計 10億 245万円

予算審査報告

平成30年度標津町一般会計・8特別会計予算及び付託された6件の条例については3月12日から15日までの4日間、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（吉田智委員長・山崎英司副委員長）で慎重に審議され、理事者及び各課主任以上の職員が出席し、総括質疑終了後、討論・採択を行った。予算審査特別委員会では、活発な質疑が行われ、委員会としては各会計とも原案どおり可決すべきものと決定した。

15日、予算審査委員会終了後、平成30年度第1回定例会において、吉田委員長から委員会審査報告がなされ、全会一致で可決された。

議案番号	議案名
議案第1号	標津町中小企業等振興基本条例制定
議案第2号	標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
議案第3号	標津町重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例制定
議案第4号	標津町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定
議案第6号	標津町介護保険条例の一部を改正する条例制定
議案第10号	標津町国民健康保険標津病院設置等に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第18号	平成30年度標津町一般会計予算
議案第19号	平成30年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算
議案第20号	平成30年度標津町国民健康保険特別会計(病院事業)予算
議案第21号	平成30年度標津町介護保険特別会計(事業勘定)予算
議案第22号	平成30年度標津町介護保険特別会計(サービス事業勘定)予算
議案第23号	平成30年度標津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第24号	平成30年度標津町簡易水道特別会計予算
議案第25号	平成30年度標津町下水道特別会計予算
議案第26号	平成30年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算

人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ2018」3つの柱

～「北海道 No.1 の子育て応援のまち」として～

- 結婚、子宝、子育ての政策
 - 定住、移住、暮らしの政策
 - 産業、経済の政策



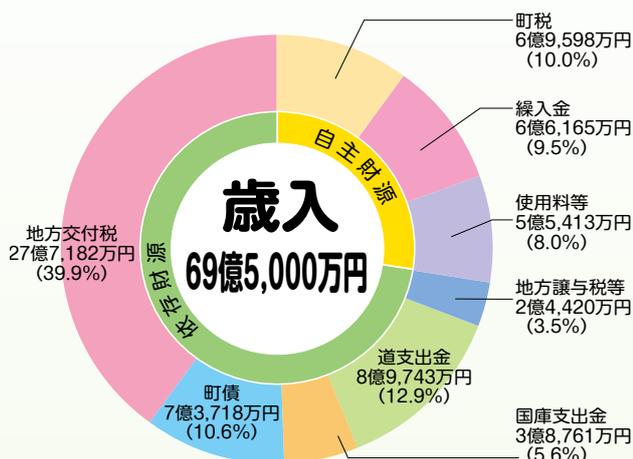
一般会計 **積極的に産業へ!!**

対前年度比
15.2%増

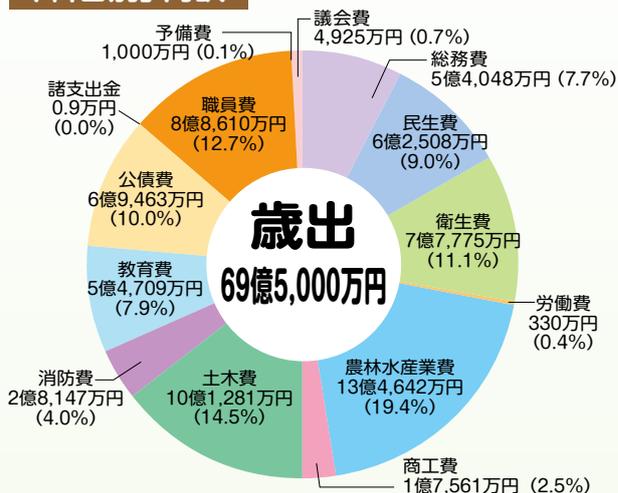
69億5,000万円でスタート

～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの実践～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 19億1,176万円 (27.5%)

※依存財源 50億3,824万円 (72.5%)

町債=借金

公債費=返済金

各会計予算額

会計区分		平成30年度	平成29年度	対前年度比較 (%)
一般会計		69億5,000万円	60億3,416万円	15.2
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	9億2,841万円	8億8,597万円	4.8
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億2,286万円	4億2,606万円	▲ 0.7
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	2,960万円	3,001万円	▲ 0.4
	後期高齢者医療特別会計	1億2,660万円	1億1,502万円	10.0
	簡易水道特別会計	2億1,242万円	2億1,255万円	▲ 0.1
	下水道特別会計	4億228万円	3億710万円	31.0
	金山地域休養施設等特別会計	2,139万円	2,248万円	▲ 4.8
	特別会計合計	21億4,356万円	19億9,919万円	7.2
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	9億1,177万円	8億9,050万円	2.4
	収益的収支	9,068万円	1億471万円	▲ 3.4
	資本的収支	9,068万円	1億471万円	▲ 3.4
企業会計合計		10億245万円	9億9,521万円	0.7
総計		100億9,601万円	90億2,856万円	11.8

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

常任委員会の動き

町内行政視察研修

北海道新聞

16面

参考

平成29年12月7日(木曜日)付

標津町図書館の全景

◆10日に図書館カフェ
【根室】市図書館(市内弥生町2)は10日、本年度第2回の図書館カフェを開催する。カフェ風にしつらえた2階の集会室を午前10時から午後3時30分まで開放し、来館者に読書や語らいなど思い思いの使い方をしてくつろいでもらう。お茶とコーヒーを無料提供する。市図書館は☎0153・23・5974。



昭和42年：公民館として建設
 平成8年：図書館として改修

標津町図書館視察

文教

福祉

建設

文教



書籍陳列の状況

図書館利用者数	28,015人	平成28年度 利用状況
1日平均利用人数	96人	
年間貸出冊数	31,734冊	
1日平均貸出冊数	107.5冊	
年間図書購入冊数	3,746冊	
蔵書冊数	82,826冊	

図書返却ポスト(平成28年5月設置)・利用状況		リクエストボックス(28年5月設置)・リクエスト利用数	
1日当たりの返却冊数	返却冊数	リクエスト人数	リクエスト冊数
28	17.7冊	27	29冊
29	7.1冊	28	66冊
平均	6.3冊	29	67冊

※29年度は12月現在



教育長の説明を受ける委員

町民の皆様より、標津町図書館に喫茶コーナーを設け、気軽に立ち寄れる「町民憩の場」として開放を望む

声があり、又、12月7日(木)付の北海道新聞に、根室市の「図書館カフェ」の記事が掲載された。・・・**参考**参照

山崎教育長より、利用状況等の説明を受けた。「喫茶コーナー」の解説に対し、教育長は、「根室市図書館を視察し、当館に適応したコーナー開設を検討する」と述べた。※

館内を視察する委員



「飲食禁止」の表示



閲覧する来館者



※平成30年度は試験的にカフェを開催し、年間行事としての開催を目指す事となった。

総務

経済

金山スキー場及び 休養施設を視察

2月23日(金)、担当所
管の商工観光課と受託
者である(株)篠田興業の
担当者より現地説明を
受けた。

視察後の取りまとめ
の中で各委員から

(1)トイレや「せせらぎ
の宿」などを、利用
しやすいよう改善が
必要

(2)集客対策として、き
め細かな宣伝活動を
すべき

(3)金山スキー場の今後
の方向を示すべき
等の意見が出された。

これを受けて3月1
日に委員会を開催し町
からの説明を求めた。

説明内容は、

(1)平成29年度の運営状
況

(2)町営金山スキー場運
営財計画(6カ年)
(3)年度別実績等

平成26年度の決算審
査特別委員会で、
『スキー場は存廃を含
めて検討すべき』
の質問に、

『平成30年の第2リフ
トの償還期限後の検討
となる』
との町長答弁があり、
検討課題との説明を受
けた。



金山スキー場の概要

- ゲレンデ面積 / 125.489㎡
- オープン / 平常は1月1日
- 営業時間 / 9時~16時
- リフト設備 /
 - 第1リフト 450.47m
(昭和54年設置)
 - 第2リフト 570.29m
(昭和63年設置)
- 町内各団体の利用 /
(平成25年以降)
1,942人~3,245人



現地を視察する委員

金山スキー場年度別実績 (町よりの提出資料抜粋)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(見込)
利用人数合計(人)	49,141	33,180	34,274	39,991	42,000
営業日数合計(日)	36	24	32	37	39
営業収入(千円)	3,784	3,488	2,691	2,816	3,300
一般会計繰入金(千円)	10,961	14,114	12,840	26,971	17,440

平成17年度より1月全日 2月土日祝日営業

